

## はじめに



世界では今、気候変動や海洋プラスチックごみ問題、大量の食品ロス、加えて、新型コロナウイルス感染症拡大により、我々を取り巻く環境は大きな転換点にあります。

将来にわたって持続可能な社会を維持していくために、廃棄物の分野においては、資源を有効活用して環境負荷を可能な限り少なくするなど、一人ひとりの行動が大切です。

長野県では、これまでも廃棄物の発生抑制の取組を推進してきたところであり、5年連続で県民1人1日当たりのごみの排出量が最も少ない都道府県となっています。これも日ごろから県民、事業者、市町村など多くの皆様が発生抑制に取り組んでいただいている成果だと認識しております。

このたび県では、令和7年度を目標年度とした長野県廃棄物処理計画（第5期）を策定しました。

この計画では、「つくる責任 つかう責任を意識して循環型社会を実現 ～信州らしい生活様式へ～」を取組目標に掲げ、持続可能な生産消費形態を確保することを目指すSDGsのゴール12「つくる責任 つかう責任」を念頭に、4R（リデュース、リユース、リサイクル、リプレイス）の推進や食品ロスの削減などの取組を進めていくこととしております。

持続可能な社会を維持し、本県の美しい自然環境を後世に引き継いでいくため、ぜひ一人ひとりが4Rを意識して県民一丸となって取り組んでいきましょう。

本計画の策定に当たり、貴重な御意見・御提言をいただいた皆様に深く感謝申し上げますとともに、本計画の推進に向けて、今後とも一層の御協力を心よりお願い申し上げます。

令和3年4月

長野県知事 阿部 守一